

## 【添付 2】

上余白 20 mm

タイトル部分  
左余白 30 mm

技術紹介

MS ゴシック 11 pt 枠付

# 技術紹介の原稿作成例

MS ゴシック 20 pt

タイトル部分  
右余白 30 mm

(株) 土壌環境建設

編集委員

土壌環境コンサルタント(株)

事務局

分科会

MS 明朝 6 pt

MS ゴシック 12 pt

MS 明朝 9 pt

MS 明朝 12 pt

MS 明朝 10.5 pt

### 1. 技術紹介とは

1行あける

技術紹介とは、土壌・地下水汚染調査・対策に関し、それぞれの目的に応じ創意工夫されたユニークな機能・機構を有する技術、および工法などで既存の技術や小改良を加えた技術を対象とする。原稿の長さは2頁以内とし、原稿の執筆に当たっては内容を良く吟味し、以下に説明するレイアウトを参考に作成する。

見出しや段落構成については著者に一任するが、紙面の制約上、特に謝辞については関係各位に事前承諾を得た上で省略することが望ましい。また、背景等の導入部分は、明瞭簡潔に表現し、本編の技術紹介を充実させる様、その構成に配慮する。

2行あける

### 2. 原稿

投稿原稿並びに最終原稿は、この作成例のレイアウトを参考に作成する。なお本文作成上の詳細は、【添付 1】にある報文・事例紹介の原稿作成例を併せて参考にすること。

投稿原稿とは、査読を行うための原稿をいう。査読終了後に提出する最終原稿は、刷り上がりの最終レイアウトをイメージした原稿を作成し提出する。原稿は和文を原則とする。

投稿原稿の提出にあたっては、正原稿を1部提出する。

最終原稿の提出にあたっては、原稿とともに本文のテキストデータ及び図・表・写真を別途提出することとする。なお、提出する図・表・写真については、縮尺倍率をそれぞれ明記すること。

左余白  
20 mm

下余白 20 mm

10 mm

15 mm

### 3. タイトルページ (第1ページ)

タイトルページは、2つの部分で構成される。

タイトル部分 (題目, 著者, 所属): 横1段組

本文部分: 横2段組

1行あける

MS ゴシック 10.5 pt

#### 3.1 タイトル部分のレイアウトとフォント

全てのページの余白は、上下左右ともに20 mmに設定する。タイトル部分の左右の余白は、本文の左右の余白よりもそれぞれ10 mmずつ大きくなる。そして以下、次の順にタイトル部分の構成要素を書く。

投稿原稿の区分: MS ゴシック体 11 pt フォント

タイトル: MS ゴシック体 20 pt フォント, センタリング

(10 mmのスペース)

著者所属 著者名: MS 明朝体 9 pt 12 pt フォント

センタリング, ふりがな

(15 mmのスペース)

#### 3.2 本文部分のレイアウトとフォント

本文と所属著者名の間に15 mmのスペースを空ける。本文は2段組で、左右の余白は20 mmずつ、段と段との間のスペースは8 mmとする。

本文には明朝体 10.5 pt フォントを用いる。

### 4. 一般ページ (2ページ以降)

19文字

第2ページ以降は、タイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成する。1ページの行数および文字数は、44行および2段組の1行に19文字を標準とする。

右余白  
20 mm

見出しの書式については，報文などの最終原稿作成例に基づいてフォントや配置を設定する．数式や図表を用いる場合も，報文などの投稿原稿作成例に基づいて配置する．最終ページには，下記のような問い合わせ先を書く．本文の2段組部分については，左右の柱の高さがほぼ同じになるように調節する．

**【問い合わせ先】**

土壌環境建設株式会社 技術開発部  
〒108-0014 東京都港区芝三丁目44-55  
TEL 03-1234-5678 FAX 03-1234-5679  
E-mail [henshu@dojyoukan.co.jp](mailto:henshu@dojyoukan.co.jp)